

オーストラリア金融政策(2017年12月)

～政策金利は据え置き。RBAは低金利政策を続けながら、景気・物価の改善を待つ～

2017年12月6日

お伝えしたいポイント

- ・ RBA(オーストラリア準備銀行)は政策金利を1.5%に据え置き
- ・ RBAは低金利政策を続けながら、景気・物価の改善の証拠を待つ
- ・ 豪ドルは短期的には一進一退の推移も、長期的には堅調に推移すると見込む

<RBAは政策金利を1.5%に据え置き>

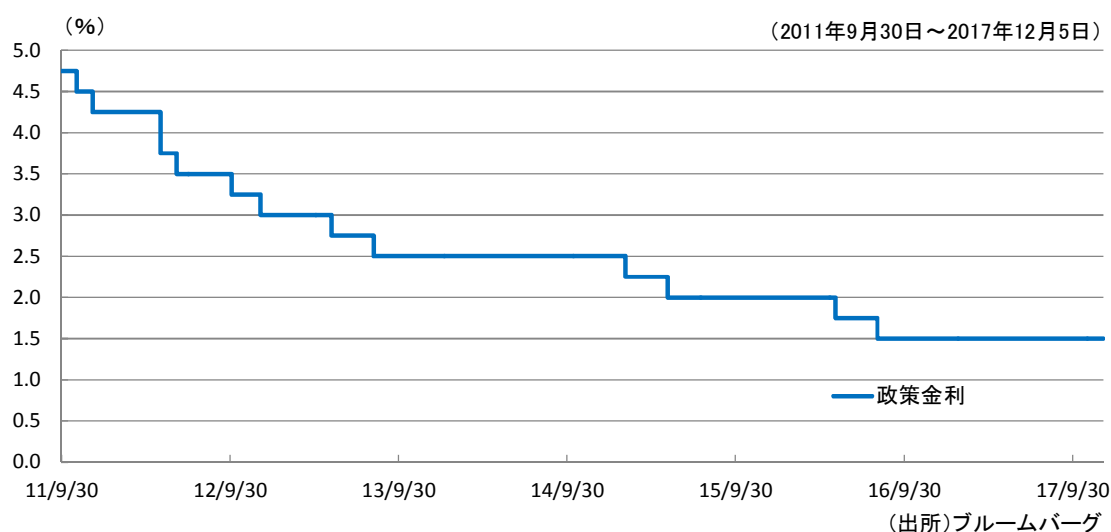
2017年12月5日(現地、以下同様)、RBA(オーストラリア準備銀行)は政策金利を発表し、前月と同様1.5%に据え置きました。据え置きは事前の市場予想通りでした。

声明文では、オーストラリア経済が今後緩やかに回復していくとの見解が維持されました。特に、非資源部門の投資見通しがさらに改善していることや、インフラ(社会基盤)投資の拡大が経済の下支えになっていることをRBAは指摘しています。

また、インフレについては、経済活動が活発化するにつれて、徐々に加速するとの見方を維持しています。

金融政策については、足元の低金利政策がオーストラリアの経済を下支えていると前置きした上で、政策金利の据え置きが適当との見方をRBAは示しました。今後の政策金利については、引き続き中立的な姿勢を維持しており、当面の政策金利の据え置きを示唆しました。

《政策金利の推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

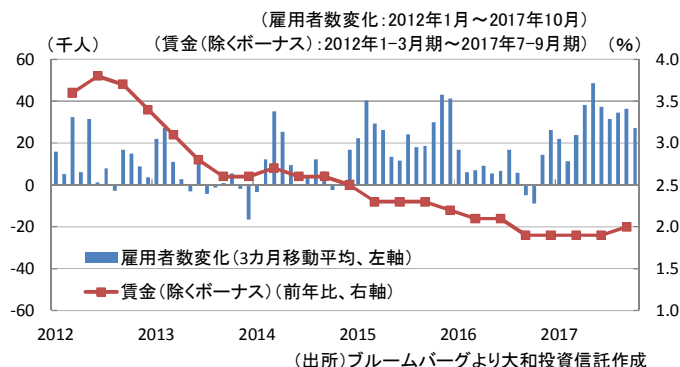
<RBA は低金利政策を続けながら、景気・物価の改善の証拠を待つ>

11月15日に発表された7-9月期の賃金指数は前年比2.0%の上昇と、前期から伸びは加速したものの、市場予想を下回る結果となりました。7月には最低賃金が例年以上の幅で引き上げられましたが、期待されたほどには賃金は伸びておらず、物価上昇圧力が高まりづらい状況が続いています。

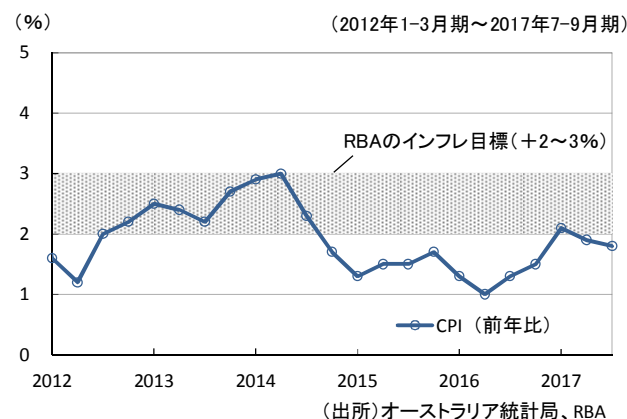
これに先駆けて、11月10日にRBAによって発表された金融政策報告書では、RBAはインフレ率の見通しを下方修正しており、基調的なインフレ率がインフレ目標に回帰する時期を2019年前半から2019年後半に後ろ倒ししています。以前よりRBAは低インフレ環境が続き、政策金利の引き上げはしばらく先になるとの見方を示していましたが、こうした環境の継続があらためて示された格好となりました。

このような状況下で、RBAは政策金利を低い水準に据え置くことで景気の支援を続けるとともに、景気の改善とそれに伴う賃金やインフレ率の上昇の証拠を待つステージにしていると考えています。当面は政策金利の据え置きが続くとみられますが、そうした証拠が集まってくれば、いずれはRBAの利上げにつながるものとみえています。

《雇用者数の変化と賃金の推移》



《CPI (消費者物価指数) の推移》

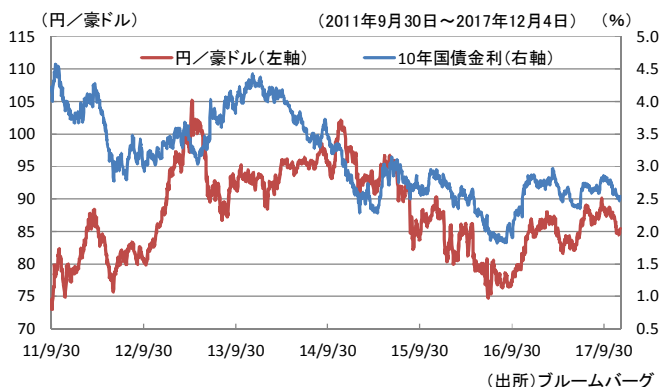


<豪ドルは短期的には一進一退の推移も、長期的には堅調に推移すると見込む>

為替相場については、RBAが政策金利の据え置きを続ける中、金融政策が相場の方向性を決定づける材料にはなりにくいため、短期的に豪ドルは一進一退の推移を続けるものとみえています。足元では原油や鉄鉱石といった資源の価格が堅調に推移していることが、資源国通貨である豪ドルを下支えすると考えています。

長期的には、労働市場の改善に伴いインフレ圧力が高まれば、利上げ観測の高まりを通じて豪ドルは堅調に推移すると見込んでいます。

《為替と国債金利の推移》



以上

※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

<ご参考> 当社の関連リサーチ

下記のリサーチでは、直近のオーストラリアに関するテーマやその背景などをお伝えしています。

◇マーケットレター

- ・オーストラリア金融政策（2017年11月）～政策金利は据え置き。インフレ率の低迷から当面の政策金利は据え置きを見込む～（2017/11/7）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171107_1.html
- ・オーストラリア訪問記～鉱石大国の今をみた～（2017/11/2）
- ・オーストラリア金融政策（2017年10月）～政策金利の据え置きを継続～（2017/10/3）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171003_1.html
- ・オーストラリア金融政策（2017年9月）～政策金利は据え置き、賃金の伸びははまだ低調も今後期待～（2017/9/5）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170905_2.html
- ・オーストラリア金融政策（2017年8月）～政策金利は据え置き～目先の為替市場のテーマは金融政策よりも資源価格～（2017/8/1）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170801_1.html
- ・最近の豪ドルはなぜ上昇しているのか？（2017/7/21）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170721_2.html
- ・オーストラリア金融政策（2017年7月）～政策金利は据え置き～移民による人口増加を背景に長期的な経済成長を見込む～（2017/7/5）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170706_1.html
- ・オーストラリア金融政策（2017年6月）～政策金利は据え置き～インフラ投資をエンジンに成長持続へ～（2017/6/6）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170606_2.html
- ・オーストラリア金融政策（2017年5月）～政策金利は据え置き。将来の利上げ時期が早まる可能性。～（2017/5/2）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170502_1.html
- ・豪州は政策金利の据え置きを決定～利上げを急がない姿勢を示す（2017/4/5）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170405_2.html
- ・【ファンドマネージャーの運用ノート】資源価格反発と保護主義の台頭から、オーストラリアの魅力が高まる環境へ（2017/2/20）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170220_1.html

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>